

答 辞

次第に穏やかな春の陽射しを感じられるようになり、桜のつぼみもほころぶこの季節、私たちは本学を卒業する日を迎えました。

本日は私たちのためにこのような盛大な卒業式を挙げていただき、誠にありがとうございます。ご臨席を賜りました学長先生、諸先生方、ならびにご来賓の皆様、卒業生を代表いたしまして厚く御礼を申し上げます。

入学当初を振り返りますと、大学での授業や新たな生活に対する期待と不安を抱いていたことが思い出されます。高校までとはまったく異なる広いキャンパスや、授業の質、形態に驚きや戸惑いを感じていました。講義や実験では理解ができず立ち往生してしまうことも多々ありましたが、そのようなときには、友人とお互い納得できるまで議論を交わすことや、先生方や先輩方の熱心な指導のおかげで、一つ一つ乗り越えてゆくことができました。さらに、卒業研究において問題に直面した時、解決方法を試行錯誤するなど、主体的に考える能力を身につけることができました。これらは私の将来の礎となっていくことでしょう。

また、大学という場は学業だけではなく、サークル活動など様々な体験を通して自らに刺激を与え、人間として成長できたのではないかと思います。多くの友人や先輩後輩との出会いによって私の大学生活は、より一層充実したものとなりました。この関係を卒業後も永く大切にしていきたいと思います。

さて、サブプライム問題から始まる百年に一度とも言われる不況に突入してしまった今、どのようにこの時代を乗り切ることが問題となっています。そのような中、私たちは大学で学び身につけた専門性や、困難な問題に立ち向かう姿勢を自らの力としてこれからの社会に貢献し、明るい未来を切り開いていく決意をもって歩んでいきます。

最後になりましたが、今日まで熱心に指導してくださいました先生方、大学生活を支えて下さった職員の方々に心より御礼申し上げます。また、私を様々な場面で支えて下さった先輩、後輩、友人、そして家族に感謝いたします。

東京農工大学のさらなる発展を祈念し、答辞とさせていただきます。

平成21年3月25日

卒業生代表

工学部物理システム工学科4年

坂内 美貴子